

Together, we make good sense.



証券コード：6763

個人投資家向け 説明会資料

未来のNOBLEを見据えて
抵抗器のNOBLEから新生NOBLEへの深化と進化

2026年9月18日
帝国通信工業株式会社

INDEX – 目次

01. 帝国通信工業について

02. 当社の強み

03. 中期経営計画

04. 株主還元と主な経営指標の推移

05. 事業成長のための研究開発と投資

06. サステナビリティとIR

INDEX – 目次

01. 帝国通信工業について

02. 当社の強み

03. 中期経営計画

04. 株主還元と主な経営指標の推移

05. 事業成長のための研究開発と投資

06. サステナビリティとIR

会社概要

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.



会社名	帝国通信工業株式会社 Teikoku Tsushin Kogyo Co., Ltd.
代表者	代表取締役社長 羽生 満寿夫 (はにゅう ますお)
住所	神奈川県川崎市中原区荻宿45-1
事業内容	電子回路を制御する抵抗器やセンサ、スイッチなどの各種電子部品を国内・海外に展開している1944年に創業の総合電子部品メーカー

ブランド名 NOBLE (ノーブル)

(2026年3月末現在)

| 創業

1944年

| 資本金

34億円

| 従業員数

1,678名

| 売上高

173億円

| 自己資本比率

82.5%

| グループ会社数

15社

NOBLEの企業理念

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

さあ、NOBLEと実現しよう。

Together, we make good sense.

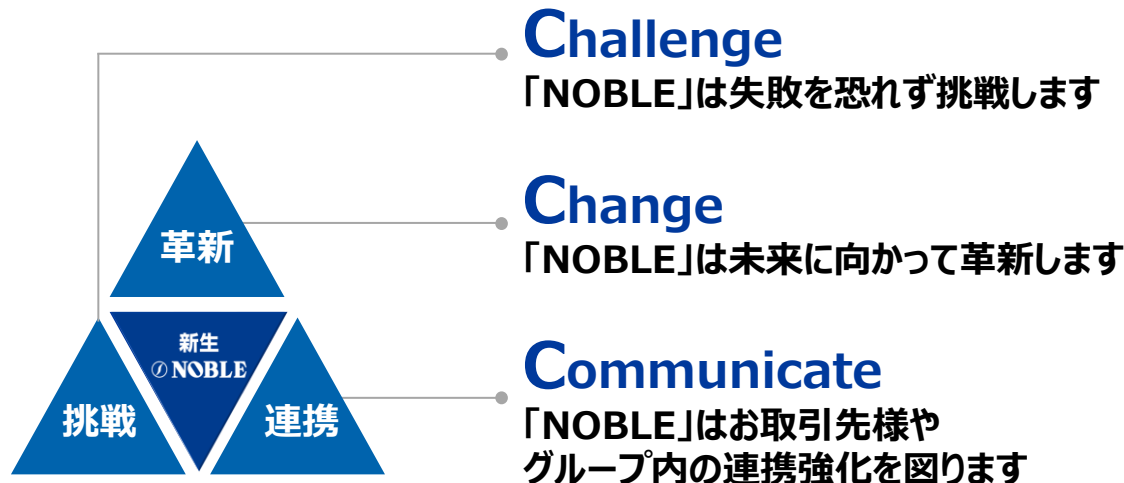
企業理念

帝通は電子部品の製造とサービスを通して
世界のお客様に満足して頂ける仕事をいつも提供し続けることにより
豊かな社会の実現に貢献します。

長期ビジョン

抵抗器のNOBLEから
「新生NOBLE」への深化と進化

行動指針 3つのC



代表取締役社長

羽生 満寿夫

変革と挑戦を続け
ながら、新しい時
代を切り拓いてい
きます



さらなる成長を目指す新中期経営計画が
スタートしました。長年培ってきたエレメント技術
を活かし、前中計に引続き、既存領域の拡大や
新製品の展開、新領域の確立に挑んでいきます。

成長を支えるのは、何と言っても人材です。当
社は前中計より「3C」

（Change, Challenge, Communicate）という
行動指針を掲げています。新中計の5年間も、
社員の変革と挑戦の意欲を後押しし、対話と意
思疎通を促すことで、人材と組織力の強化を
図っていきます。



- 1944年8月 帝国通信工業（株）設立
赤穂工場開設
- 現須坂帝通に資本参加
台湾富貴電子工業設立
福井帝通設立
- 東証・大証1部に指定替え
木曽精機設立
帝通エンジニアリング設立
シンガポールノーブルエレクトロニクス設立
- ノーブルU.S.A.設立
香港富貴電子設立
ノーブルエレクトロニクス（タイランド）設立
FILM基板採用開始
- ミノワノーブル設立
ノーブルプレジジョン（タイランド）設立
ノーブル貿易（上海）設立
- ノーブルエレクトロニクスベトナム設立
ノーブルトレーディング（バンコク）設立
- 富貴電子（淮安）設立
組織再編
タイ生産2法人を統合
福井帝通とミノワノーブル合併
- 新生NOBLE転換期
東証プライム市場へ移行
中期経営計画策定



スピーカー用可変抵抗器や
トランジスタラジオロータリー
スイッチを生産



テレビ、ステレオ、
テープレコーダー等の
民生音響機器用の
可変抵抗器を生産



カーオーディオ等用の
ICB製品を生産



家庭用ビデオカメラ向け
ICB製品を生産



デジタルカメラ等デジタル家電や
生活家電・住宅設備向けICB製品を生産



自動車用ICB製品やアミューズメント機器
・医療ヘルスケア用のセンサを生産

・終戦後の混乱期

戦火で2階建て事務所
が焼けた跡の正面写真



・高度成長期
・東京オリンピック
・カラーテレビ化による
需要拡大



・オイルショック
・CB無線
による
事業拡大期



・自動車生産台数世界一
・ファミコンブーム
・8ミリビデオ登場



・バブル崩壊
・新規ゲーム機の多様化
・ICB製品拡大期

・リーマンショックによる
日本の製造業構造
変革期
・デジタル家電の流行
・ICB製品継続期



・東日本大震災
・タイの大洪水
・アベノミクス
・民生用
ICB製品衰退期



・世界的なコロナ流行
・東京オリンピック
・ウクライナにて地政学
リスク発生

当社の拠点一覧（国内）

さあ、NOBLEと実現しよう。

Together, we make good sense.

福井帝通



木曽精機



須坂帝通



福井帝通ミノワ工場



本社

帝通エンジニアリング・エコロパック



大阪営業所



赤穂工場



赤穂工場飯田管理課（合併前：飯田帝通）



- …本社
- …製造拠点
- …販売拠点

当社の拠点一覧（海外）

さあ、NOBLEと実現しよう。

Together, we make good sense.

中国
Noble Trading (Shanghai) Co., Ltd.
Shenzhen Representative Office
Noble Electronics (Huaian) Co., Ltd.



韓国
Teikoku Tsushin Kogyo Co., Ltd.Korea Office

タイ
Noble Trading (Bangkok) Co., Ltd.
Noble Electronics (Thailand) Co., Ltd.



香港
Hong Kong Noble Electronics Co., Ltd.

アメリカ
Noble U.S.A Inc.



ベトナム
Noble Electronics (Viet Nam) Co., Ltd.



シンガポール
Singapore Noble Electronics Pte., Ltd.



台湾
Taiwan Noble Electronic Co., Ltd.



INDEX – 目次

01. 帝国通信工業について

02. 当社の強み

03. 中期経営計画

04. 株主還元と主な経営指標の推移

05. 事業成長のための研究開発と投資

06. サステナビリティとIR

NOBLEの価値創造の源泉

さあ、NOBLEと実現しよう。

Together, we make good sense.

- 可変抵抗器や固定抵抗器などのディスクリート製品と、設計開発から生産まで行える強みを最大限に活かしてお客様のニーズに合わせてカスタマイズするカスタム製品の2つの方向から人と機器をつなぐ架け橋を担う



自動車



AV機器



アミューズメント・
ホビー機器



家電機器



医療・
ヘルスケア機器



事務機器
産業機器

ディスクリート製品



可変抵抗器



センサ（抵抗式）



半固定抵抗器



エンコーダ



スイッチ



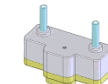
固定抵抗器



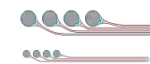
プラグ

各種調整や位置センサなどに
用いる「可変抵抗器」、各種電気・
電子回路を用いる「固定抵抗器」など

ICB製品（カスタムブランド）



センサスイッチユニット



生体電極

前面操作ブロックとして生産する
ICB製品は当社独自のカスタムブ
ランド。NOBLE-FPCを中心とした
集積モジュールは各種マーケットか
らの要求に対応

価値創造の源泉

生産・技術



営業



研究開発

一貫生産体制×自社設備設計による 「統合型エンジニアリング能力」

- ・ 一貫生産能力を活かした、既存事業から新領域に渡って幅広い製品の生産能力
- ・ 多品種小ロットの市場においても、高品質・短納期で対応できる柔軟性と安定的な品質を確保

顧客ニーズや市場トレンドを的確に 捉えた、高い折衝力と提案力

- ・ 潜在ニーズを掘り下げ、顧客への最適なソリューションでの商品提案
- ・ 製造領域の知見を備えた人材が、開発～量産体制までの連携を見据えて、付加価値ならびにお客様満足度の向上を実現

エレメント技術を核とした 統合型R&D体制

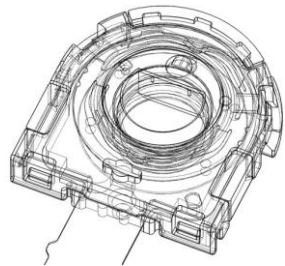
- ・ 単なる製品開発ではなく、市場ニーズを捉えた社会貢献型研究開発を追求
- ・ 大学やベンチャー企業などの外部機関との共創型研究開発スタイル

NOBLEの生産・技術体制

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

- 幅広いニーズに応える、独自のフィルム印刷と成型・プレス加工という2つの技術をコアに、設計・開発・アセンブリまで自社で一貫生産対応を基本に、様々なオーダーに応えることが出来る

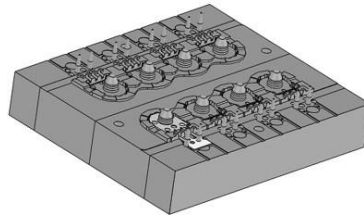
ニーズ



製品設計

お客様のご要望に合わせて
製品設計を行う

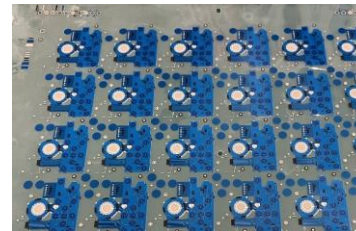
設計・開発



金型設計

金型の設計・加工を
自社で行う

素材・部品・製品



スクリーン印刷

フィルム・PCB基板への
印刷を自社で行う

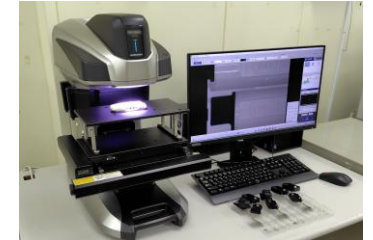
製造・組み立て



成型・加飾・プレス加工

樹脂成型および加飾、
プレス加工から組立工程
までを自社で行う

品質保証



検査

インラインまでの自動検査
やトレイ梱包まで、
自動で行う

概要

自社の強み

- 創業以来培ってきた一貫生産体制と独自技術を基盤に、多様な顧客ニーズに対し、迅速かつ高品質なソリューションを提供

- 成型およびプレスなどの金型について、設計から加工までの全工程を自社内で一貫して手掛ける
- インサート成型や高精度な部品加工にも対応

- 電気回路のパターンを直接成形することにより、「小さく・薄く・軽く」が求められる電子機器向け部品のニーズに対応
- お客様から高評価をいただき、幅広い分野で採用

- FPCや端子を樹脂成型で一体化する独自のインサート成型技術を保有
- 最新のプレス機、独自の設備や加工技術を生かし、安定して高品質な部品を提供

- 高い生産技術力による工程の自動化、省人化が強い
- 自動検査と認定検査員による厳格な検査の組み合わせにより、高い品質を保証

利益成長を支える生産技術革新への取り組み

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

- 製造工程で使用する機械装置は社内生産技術部門で研究し、設計製作・システムアップを行っており、低コストで高い生産能力を実現
- IoT技術等の活用により生産効率の向上やコスト削減、品質維持による信頼性を確保

IoTを活用した生産技術革新による自動化・省人化の取り組み

製品検査の安定化とコスト削減力

画像検査装置や製造能力向上が見込まれる画像印刷機の導入



作業員による目視検査を自動化することにより検査制度の向上と高速処理が実現



画像処理位置合わせにより高直線性使用の印刷への対応が可能な他、基盤洗浄機構の追加により印刷不良を低減

生産能力と品質の両立

透明電極対応印刷機



落射照明を用いた印刷技術により無色インク電極の高精度な生産と品質安定化を実現

車載向けドアミラーセンサ組立機



部品自動挿入、フォースゲージを用いた設備動作検査の省人化により人件費削減が実現可能

デジタル技術での現場変革

ペーパーレス化と情報共有

- ・ 作業手順書・品質記録をデジタル化
- ・ QRコードで製品仕様書に即時アクセス

製造実績のリアルタイム可視化

- ・ 製造実績を自動収集・分析し、即時改善活動に活用

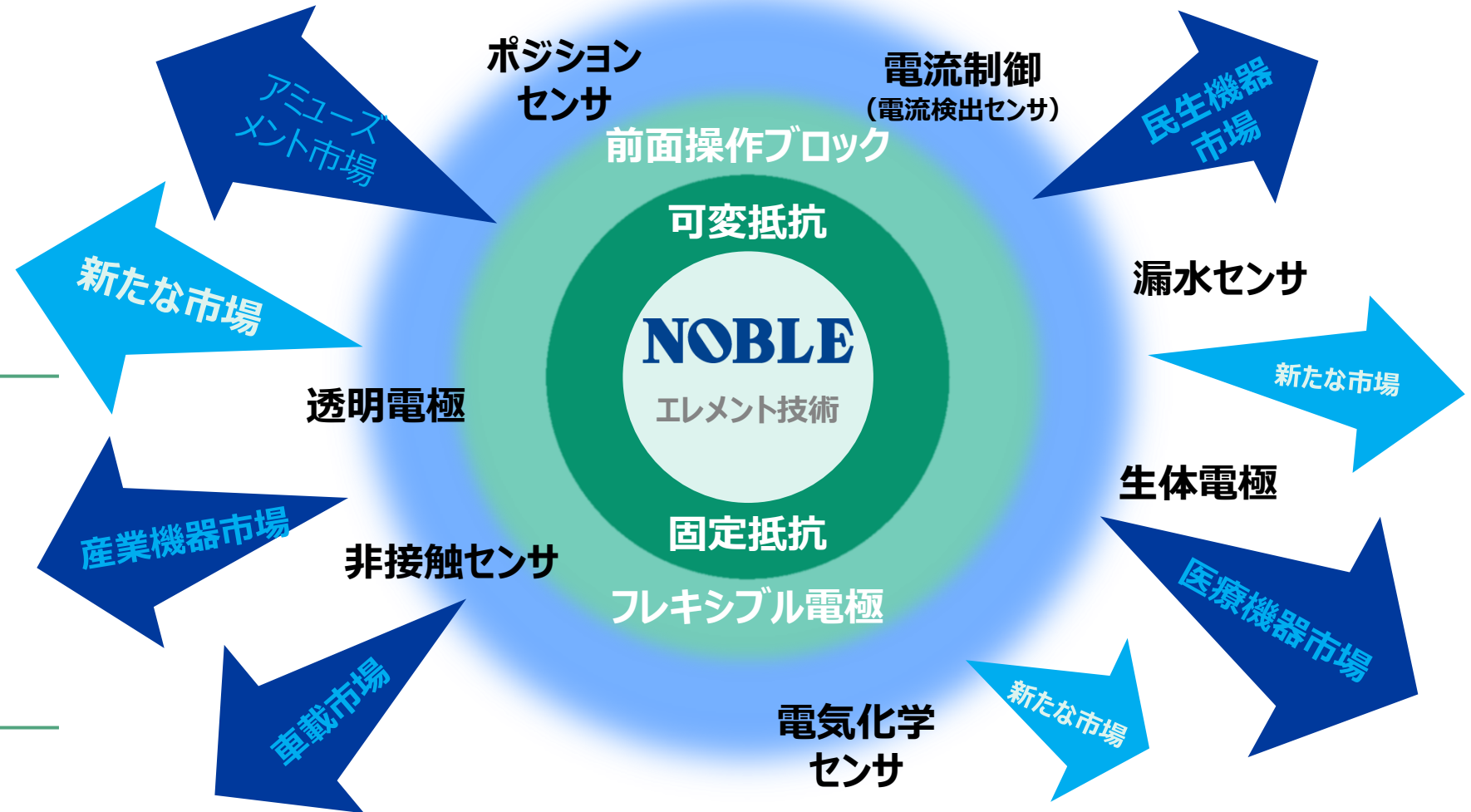
動作分析による教育の標準化

- ・ 熟練工の作業を動画撮影・動作分析し、効率的な標準作業を確立



エレメント技術で 既存市場から 新市場への展開

エレメント技術をベースに
80年の歴史を育む
NOBLEのセンサで
社会に貢献し続けます。



INDEX – 目次

01. 帝国通信工業について

02. 当社の強み

03. 中期経営計画

04. 株主還元と主な経営指標の推移

05. 事業成長のための研究開発と投資

06. サステナビリティとIR

今中期経営計画の位置づけ

さあ、NOBLEと実現しよう。

Together, we make good sense.

帝国通信工業グループは、2024年8月に創立80周年を迎えました。
前中期経営計画公表と共に示した長期ビジョンを基に、当社グループの社員が共通認識に立ち、「創造力」と「挑戦する精神」を礎にして未来を切り拓いてまいります。
新たな中期経営計画は、前中期経営計画の取組みをさらに加速させ、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

前中期経営計画 FY2021-2025

既存領域の拡大・新領域の模索

- コア技術の活用による新製品開発
 - チップ抵抗・非接触スイッチ等の開発
- 新技術領域の構築
 - ソフト・回路・微細加工領域の構築
- 販売力・マーケット拡販の強化
 - 新規営業・提案型営業の強化
- 品質の向上
 - 求められる品質基準への対応
- 生産性の向上・付加基準の向上
- 組織力の強化

2025年度実績

売上高 : 173億円
営業利益 : 12億円
ROE : 4.5%

中期経営計画 FY2026-2030

新領域の確立

- 前中計の取組みの強化と収益力の向上
 - 注力業界の動向を捉えた取組みの強化
 - 現在の固定・可変抵抗器以外の製品・技術の確立
- グローバル拠点の連携強化・拡大
- 管理系システム見直しを含む生産性・付加価値の向上
- 資本収益性・効率性を意識した経営
- 組織力の強化

2030年度目標

売上高 : 220億円
営業利益 : 22億円
ROE : 6.0%以上

更なる成長を目指し

抵抗器のNOBLE
から
新生NOBLEへ

着実な利益成長と
不断の財務戦略の遂行により
中長期的なROE8.0%超の
早期実現を目指す

経営数値目標

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

- 2030年度連結売上高220億円、営業利益22億円、営業利益率10.0%、ROE6.0%以上を目標とし
中長期的にROE8%を目指していく方針

項目	指標	2025年度 実績	2030年度 中期経営計画目標
業績	売上高	173億円	220億円
	営業利益	12億円	22億円
	営業利益率	6.7%	10.0%
資本収益性 資本構成	ROE	4.5%	6.0%以上
	自己資本比率	82.5%	70%前後を目安
	手元現預金水準	月商7~8ヶ月程度	月商3.5~4.5ヶ月程度
株主還元方針		一株当たり100円 (配当性向実績値：73.4%)	DOE*5.0%目安 中計当初3ヶ年で自己株式取得総額 15億円の実施

*支払配当金÷株主資本（純資産－その他の包括利益累計額－新株予約権－非支配株主持分）

当社を取り巻く環境変化

社会動向

- インフレ圧力緩和が見られる一方、米国、中国等諸外国の関税措置拡大が影響し、依然不透明な状況が続く
- 地政学リスクによるサプライチェーンの分断・不安定化やエネルギー情勢を背景とした材料費・人件費の高騰
- 生成AIの急速な普及による、次世代製品の開発

顧客動向

- 自動車市場ではxEVなど環境対応が注目を集め、先進運転システムの普及なども進展しており、関連部品は堅調に推移している
- デジタルカメラ市場は、スマートフォンの普及により市場規模がピーク時と比較して縮小したが、高画質・高性能のミラーレス一眼で差別化され、安定的な市場を維持
- 社会課題を解決する領域が有望な成長ドメインとなっている（産業・医療分野）

今中期経営計画における基本戦略

1

既存領域の拡大

顧客ニーズを捉えた抵抗式センサの開発・量産技術による利益成長の実現

- 確実な「成長領域」での深堀り
 - モジュール、ユニット化による高付加価値化と単価向上
 - 車載HVAC向けポジションセンサのバリエーションの拡大
 - 社会課題を解決する領域への拡販
- 海外市場への展開
- 既存領域における一貫生産×自動化×標準化による利益率強化

2

顧客ニーズを捉えた新製品展開

多様化する顧客ニーズを捉えた新製品開発

- モビリティ領域
 - 車載ドアミラーポジションセンサのバリエーションの拡大、xEV関連への固定抵抗器参入強化等
- 家電機器領域
 - 生活家電向けヒーター抵抗器の熱効率改善品
- アミューズメント・ホビー機器領域
 - 電子楽器市場への操作ユニットの提案（カーボン抵抗体方式タッチセンサ）

3

新領域の確立（チャレンジ分野）

社会・生活課題起点の新市場を見据えた研究開発による新たな収益の獲得

- 社会課題解決への貢献（電気化学センサ）
 - 高血圧を未然に防止するナトリウムセンサの開発および企業向け販売の強化
- トレンド分野への展開（IoTセンサ領域）
 - 漏水センサの技術確立およびテスト販売（サブスクモデルへの挑戦）
 - 時刻同期（屋内UWB）への取り組み
 - 印刷技術を生かしたRFIDの技術確立・社会実装等

4

組織力の強化

人・知・財のシナジーで、未来を駆動する強靱な経営基盤の実現

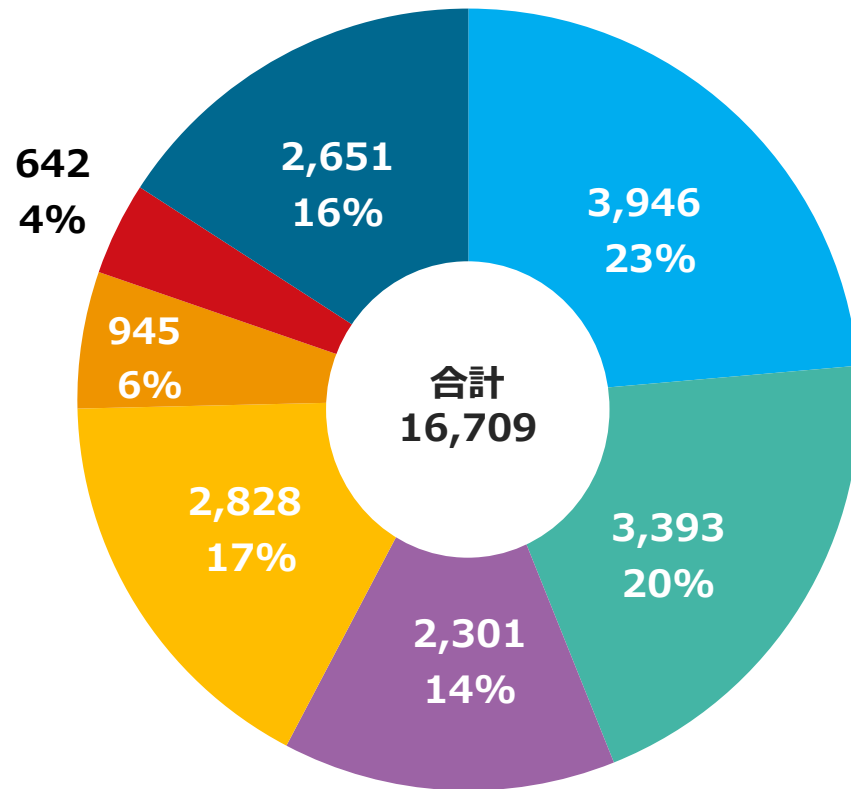
- 社員のウェルビーイングと人材育成を両輪とした人材戦略の推進
- DXの推進・セキュリティの強化による業務基盤の高度化
- 資本効率・収益性を意識した財務基盤の構築
- 事業成長を支える戦略法務への転換

市場別売上高－電子部品セグメント通期前年比較

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

26/3期通期実績

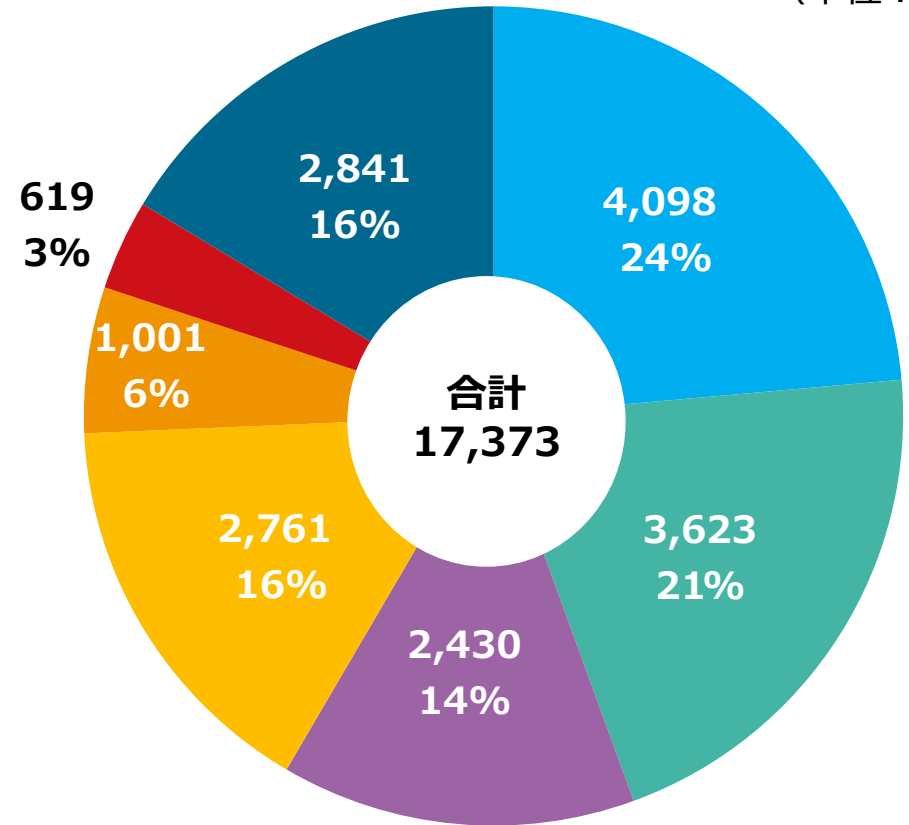
(単位：百万円)



27/3期通期見通し

(単位：百万円)

- AV機器
- 自動車
- 家電
- アミューズメント
- 産業機器
- 医療・ヘルスケア
- その他



INDEX – 目次

01. 帝国通信工業について

02. 当社の強み

03. 中期経営計画

04. 株主還元と主な経営指標の推移

05. 事業成長のための研究開発と投資

06. サステナビリティとIR

エクイティコントロールを企図した株主還元方針

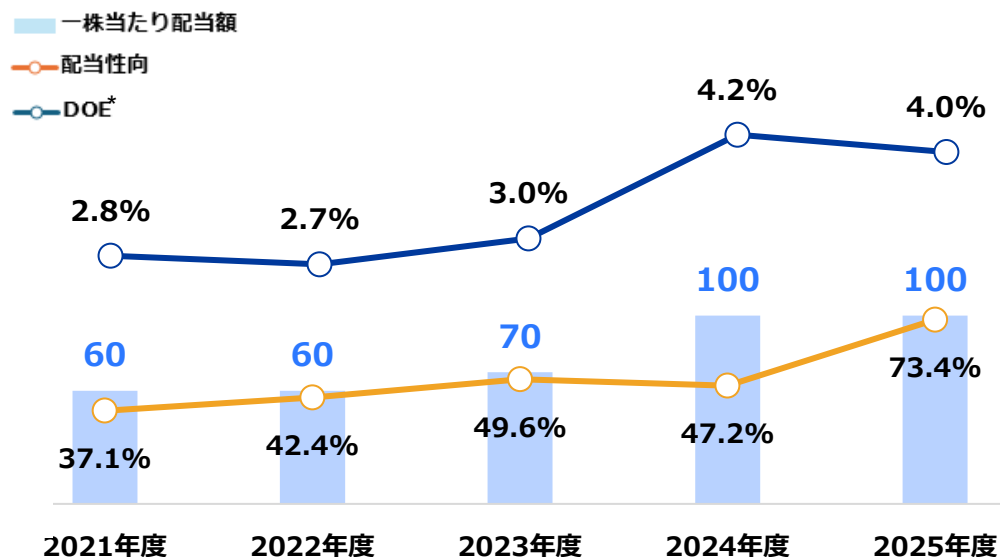
さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

- ROEの向上に向け、資本の適正化を企図した株主還元方針へ変更
- 純資産の過度な増加を抑えるべく、DOE（株主資本配当率）を導入し、中計期間中に機動的な自己株買いを実施する方針

株主還元方針

配当実績

- 2024年度は当社創立80周年の年であり、普通配当70円（中間35円・期末35円）に加えて記念配当30円とし、一株あたり100円（中間50円・期末50円）を実施



前中期経営計画

配当方針

中期経営計画期間

純資産の過度な増加を抑えるべく
DOEを導入

DOE*5.0%程度を目安

自己株式取得

最適資本構成の実現および
弾力的な資本政策の遂行を目的に
中計当初3ヶ年で15億円の実施を想定

2026年度
(予定)

*支払配当金÷株主資本（純資産－その他の包括利益累計額－新株予約権－非支配株主持分）

株主還元と主な経営指標の推移

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

**2030年度 連結売上高220億円、営業利益22億円、営業利益率10.0%、
新中計ではROE6.0%以上目標だが、中長期的にROE8.0%超の早期実現を目指す**

連結ベース	過年度平均 2018年度 ～ 2020年度	前 中期経営計画					新 中期経営計画「2030」	
		2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 計画	2030年度 計画
営業利益（億円）	7.9	16.9	16.0	9.4	16.6	11.5	15.0	22.0億円
株主資本(億円)	204	215.5	223.0	225.2	234.2	232.6	—	
配当金（円）	47	60	60	70	100	100	125	
自己株式取得（億円）	-	-	-	5.0	3.0	5.0	当初3ヶ年 15億円	
ROE(%)	2.5	6.8	5.7	5.3	7.4	4.5	4.9	6.0%以上
ROIC(%)	2.6	5.6	5.0	2.9	5.0	3.4	4.4	
法定実効税率(%)	30.5	30.6	30.6	30.6	30.6	30.6	31.5	
DOE (%)	2.2	2.8	2.7	3.0	4.2	4.0	5.0	5.0%目安
配当性向 (%)	51.8	37.1	42.4	49.6	47.2	73.4	82.4	
総還元性向 (%)	51.8	37.1	42.4	86.3	62.9	113.5	117.9	

※2026年度計画における各指標は、2025年度実績の自己資本、株主資本等に基づき算定しております。

INDEX – 目次

01. 帝国通信工業について

02. 当社の強み

03. 中期経営計画

04. 株主還元と主な経営指標の推移

05. 事業成長のための研究開発と投資

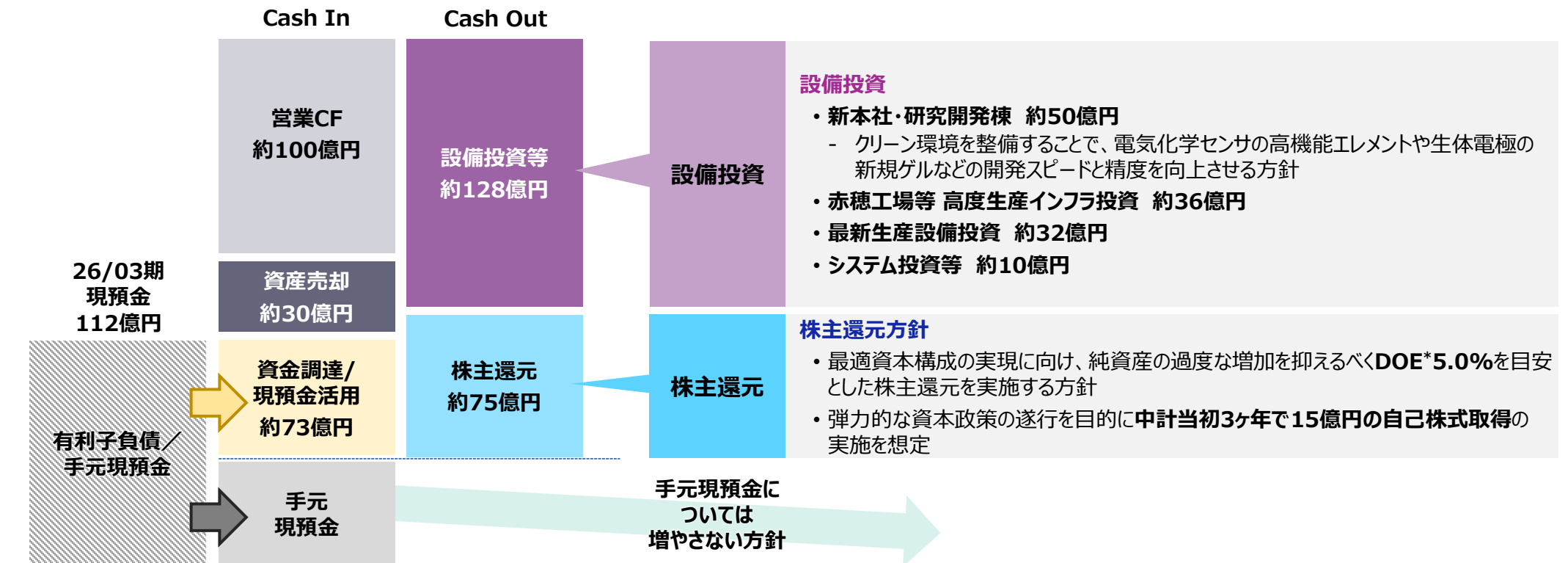
06. サステナビリティとIR

成長を加速させるキャッシュアロケーション戦略

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

- 今中期経営計画期間では、より積極的な投資と、株主還元を両立し、現預金水準は増やさない方針で進める
- 将来の成長に必要な投資を優先的に実施することで、資産の質を高め、利益成長の実現を目指す

キャッシュアロケーション（5ヶ年累計）



*支払配当金÷株主資本（純資産－その他の包括利益累計額－新株予約権－非支配株主持分）

計画概要

竣工予定年月	: 2028年1月（新本社ビル完成）
建築用途	: 研究開発機能と本社機能の複合施設
規模	: 建築面積約2,000㎡
構造	: 鉄骨造4階建
延床面積	: 約7,200㎡
主な性能	: 省エネ対応 ZEB Ready相当を目標とする※1 耐震基準 保有水平耐力1.25以上※2

※1.基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減

※2.震度7クラスの地震が発生した場合においても人命の安全が確保でき、
補修を行うことで継続して建物を使用することが可能な耐震性能

移転・建替えスケジュール

・第1次解体工事	: 2025年夏 (完了)
・本社新築工事	: 2026年4月～2028年1月 (現在計画通り進捗)
・第2次解体工事	: 2028年春～2029年春

完成イメージ



工事開始



- 新市場への展開に向け、高度化・多様化するお客様ニーズに応えるべく環境に配慮した「モノづくり」体制の高度化を行う

赤穂
工場
・
本社



生産工場への積極的な投資

- ・ 新市場へ向けた新棟建設
- ・ クリーン環境での生産体制
- ・ 独自印刷技術のさらなる高度化
- ・ 品質管理体制の強化

エレメント技術の深化

- ・ 新たな市場への展開
- ・ 医療・ヘルスケア市場の拡大
- ・ アミューズメント市場の拡大
- ・ 高性能、高寿命、高品質のレベルアップ

自動車分野

自動車市場における
EV化への対応

医療・ヘルスケア分野

健康増進に向けた
予防医療への対応

チャレンジ分野

防災等社会課題解決に向けた
インフラビジネスへの対応

研究開発方針

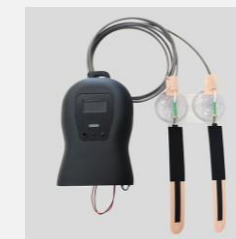
さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

研究開発活動の方針

- ▶ 環境に配慮した要素技術開発に磨きをかけ、「エレメント技術」や「ICB技術」を応用した製品開発を目指して参ります。



- ▶ ヒューマン・マシン・インターフェースとしての新しいデバイスの開発と、スクリーン印刷技術や部品実装技術を生かしたフレキシブルな「I.o.T」デバイス等の開発に注力し、通信関連やインフラ等の新規市場にも新たなモジュール製品を提案して参ります。



- ▶ 医療・ヘルスケア分野で需要が高まってきている、POCT（Point of Care Testing）で、将来的に様々な物質の測定に見込まれる「電気化学センサ」の技術確立を今後の柱の1つに育てて参ります。



株式会社S'UIMIN 会長 柳沢正史の経歴



- 2026年: アルバート・ラスカー基礎医学研究賞
- 2023年: 生命科学ブレイクスルー賞
- 2019年: 文化功労者
- 2018年: 朝日賞、慶應医学賞
- 2017年: 株式会社S'UIMIN 創業
エルウィン・フォン・ベルツ賞1等
- 2016年: 紫綬褒章
- 2012年: 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構
(WPI-IIIIS) 機構長就任
- 2003年: 米国科学アカデミー正会員に選出
- 2000年: ブ레인サイエンス振興財団 塚原仲晃記念賞
- 1998年: 米国薬理学会 ジョン・J・エイベル賞

睡眠医学における世界最高峰の研究者であり、筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構の機構長・教授を務める柳沢教授は、当社が出資及び製品供給させていただいているS'UIMIN社の取締役会長も務められています

医療・ヘルスケア分野における先進企業との取組み

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

SleepTech

睡眠評価装置 Nightgraf：在宅で“睡眠の質”を診る選択肢。

在自宅、
“睡眠の質”
を診る
選択肢。

睡眠評価装置 ナイトグラフ

弊社供給

Nightgraf電極

AI解析

睡眠評価レポート

資本提携

生体電極シート等の供給

➤ 心電図～筋電測定用の生体電極から、さらに微弱な信号の脳波測定用Nightgraf電極へと進化し、SleepTech分野に貢献しています。

4人に1人が睡眠に悩み
年間経済損失約15兆円

出典：S'UIMIN社「Nightgraf@サービス概要資料」

S'UIMIN

Sleep is the Ultimate Intelligent Mechanism In Nature

当社製品

Nightgraf電極

国内スリープテック市場規模推移・予測

年	市場規模 (億円)
2020年	30
2021年	45
2022年	60
2023年	95
2024年 予測	125
2025年 予測	140
2026年 予測	150
2027年 予測	160

➤ PSG検査への応用(睡眠時無呼吸症候群診断用)

出典：矢野総合研究所「国内スリープテック市場規模推移・予測」

28

学生バイオセンサコンペ「BioInnoSense」への協賛

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

- 次世代イノベーション人材の育成支援と、センサ技術の高度化・認知度向上を推進を目的に「BioInnosense」へ協賛いたしました

BioInnoSense バイオイノセンス

PJ概要

「BioInnoSense」は、大学の枠を超えた「研究力」と企業の「社会実装力」を掛け合わせ、医療・健康・環境・食品安全など次世代領域でのイノベーション創出を目指す、大学生対象のバイオセンサ・コンペティションです。



コンペティション会場の様子

主な参加大学

慶応義塾大・芝浦工業大・東京大・東京科学大・
東北大・徳島大・早稲田大

協賛目的

センサ技術向上の支援

学生の自由な研究開発・プロトタイピングの支援を通じ、次世代を担う技術者の育成とセンサ技術全体の底上げに貢献。

当社ブランド認知度の向上

先進研究に取り組む大学・研究室および優秀な学生層に対し、技術パートナーとしての当社の存在感と認知度を拡大。



参加した学生の集合写真

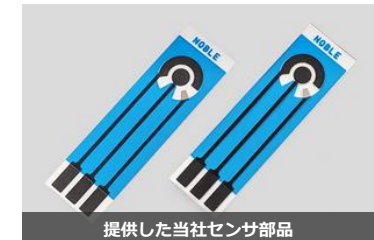
協賛内容

資金の提供

コンペティション運営費および学生チームの研究・試作開発活動を支える事業資金を提供。

センサ部品の提供

開発実機に必要なセンサ部品・関連技術資材を提供（※案件・仕様等に応じ有償提供を含む）。



提供した当社センサ部品

公式Webサイト: <https://www.bioinnosense.com/>

株式会社ファーストスクリーニング様との共同開発



ナトリウム・カリウム : 尿中における、高血圧の原因となるナトリウムとナトリウムの排出を促すカリウムのバランスを表す指標

● 尿中ナトリウム・カリウム測定器

- ✓ 尿中に含まれるナトリウム・カリウムを継続的に測定することで体の状態を知ることができ、食生活改善のきっかけづくりに役立つ

簡単

スティックの先端に尿をかけるだけで測定が可能

清潔

尿をかけるスティック部分は毎回使い捨てのため、センサ本体は清潔さを保つことが可能

即判定

測定開始後およそ20秒で液晶表示機に結果をお知らせ

* 株式会社ファーストスクリーニング

2018年創業のスタートアップ企業。未病の早期発見を目指し、尿や唾液や血液を使った、非浸襲センサによる、セルフ検診サービスを展開。スマホで簡単に結果確認ができ、日常の健康管理を支援します。

電気化学センサに関する取り組み — ナトカリ測定装置の使い方

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

P-Scan ナトカリ

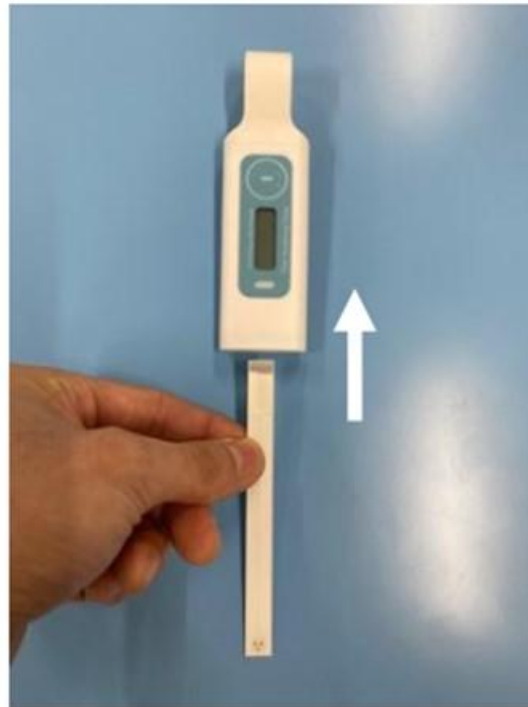
簡単・清潔・すぐ分かる

1



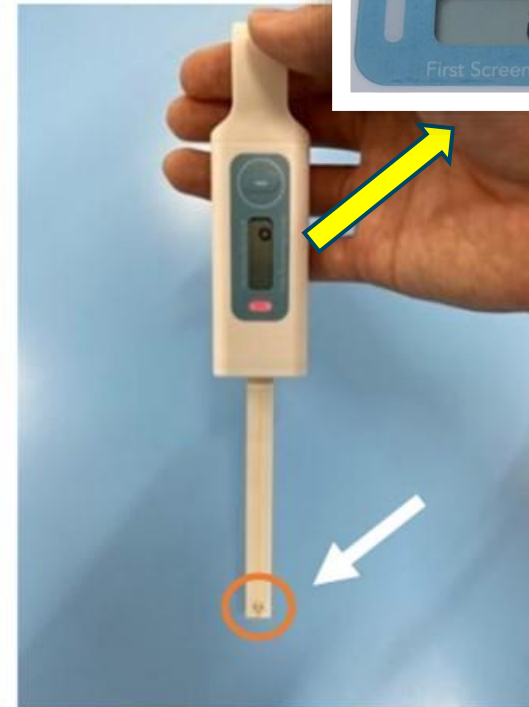
アルミ袋からセンサーを取り出す

2



センサーを測定器に装着

3



センサーの先端に1-2秒尿をかける
20秒後にナトカリ比が画面に表示

4



使用後はアルミ袋にセンサーを戻して廃棄

尿検査でナトカリ比を測ります

あなたの
ナトカリ比は
大丈夫？

Na/K 比（ナトカリ比）は
2未満が理想的です。

ナトカリ比が高いほど、
高血圧・循環器疾患リスクが
高まると考えられています。

Na/K 比（ナトカリ比）とは？

尿中の Na（ナトリウム）と K（カリウム）の比を Na/K 比（ナトカリ比）と言います。

Na/K 比
（ナトカリ比）

=

ナトリウム（食塩）
カリウム

カリウム摂取量が多くなるまたは
ナトリウム（食塩）摂取量が少なくなる
⇒ Na/K 比は低下します。

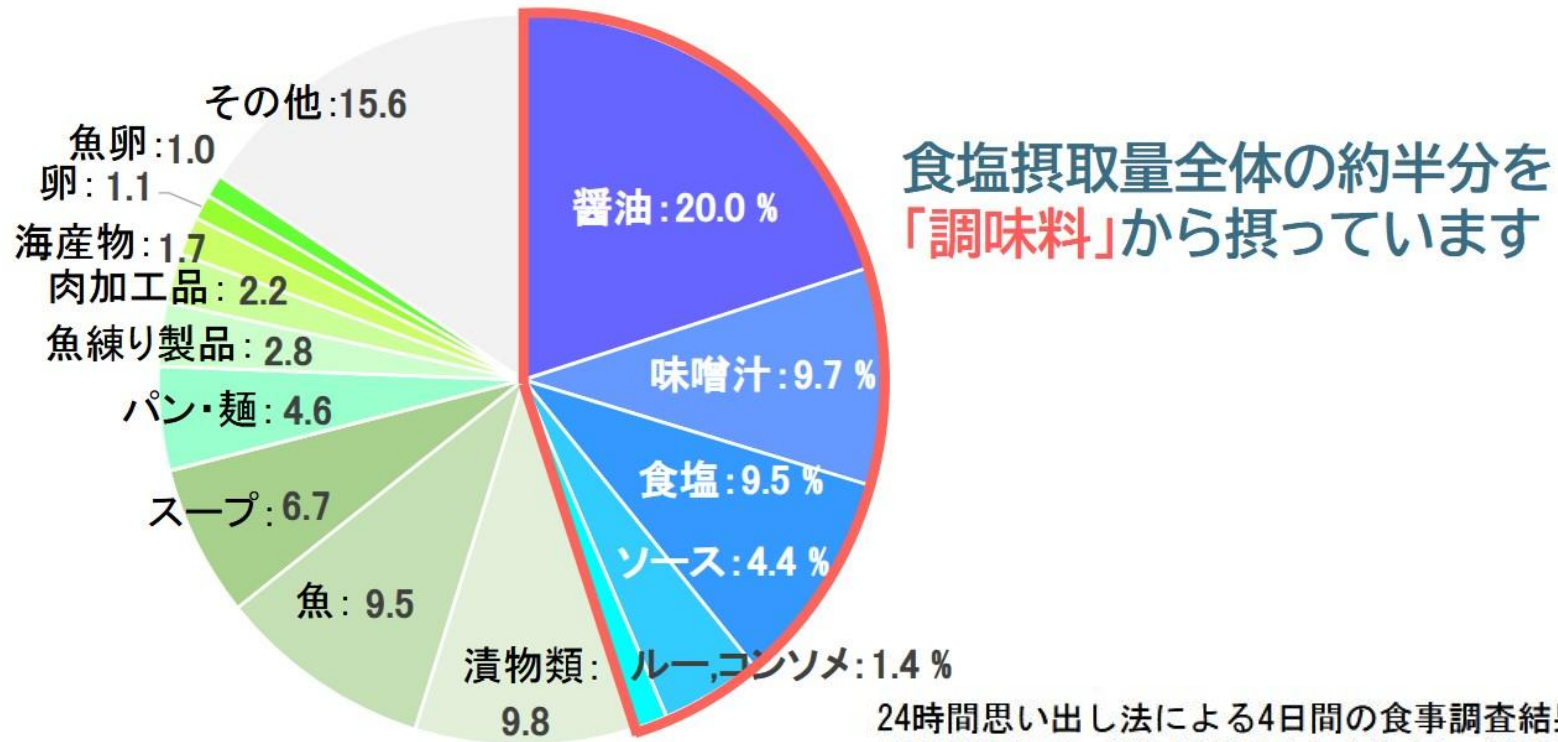
ナトリウム（食塩）
カリウム

ナトリウム（食塩）摂取量が多くなるまたは
カリウム摂取量が少なくなる
⇒ Na/K 比は上昇します。

ナトリウム（食塩）
カリウム

みんなで下げようナトリウム比

日本人成人の主な食塩摂取源をご存知ですか？



24時間思い出し法による4日間の食事調査結果
INTERMAP日本（40-59歳男女1,145人）（1996-1998年）
Anderson CAM, et al. J Am Diet Assoc 2010
Table2を基に作成

尿検査でナトリウム比を測ります

あなたの
ナトリウム比は
大丈夫？

Na/K 比（ナトリウム比）は
2未満が理想的です。

ナトリウム比が高いほど、
高血圧・循環器疾患リスクが
高まると考えられています。

Na/K 比（ナトリウム比）とは？

尿中の Na（ナトリウム）と K（カリウム）の比を Na/K 比（ナトリウム比）と言います。

$$\text{Na/K 比 (ナトリウム比)} = \frac{\text{ナトリウム (食塩)}}{\text{カリウム}}$$

カリウム摂取量が多くなるまたは
ナトリウム（食塩）摂取量が少なくなる
⇒ Na/K 比は低下します。

ナトリウム（食塩）
カリウム

ナトリウム（食塩）摂取量が多くなるまたは
カリウム摂取量が少なくなる
⇒ Na/K 比は上昇します。

ナトリウム（食塩）
カリウム

電気化学センサに関する取り組み — ナトリウムとは

さあ、NOBLEと実現しよう。

Together, we make good sense.

みんなで下げようナトリウム

厚生労働省https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000120172_00020.html より

増カリウムのための3つのポイント

カリウムを多く含む食材を摂ることで、ナトリウムを体外に排出するのを助けてくれます。毎日の食事にプラスしましょう！

カリウムの目標量：3,000mg/日以上（男性） 2,600mg/日以上（女性）日本人の食事摂取基準（2025）



味付けは薄味に！

野菜

1日の目安量：350g 以上
（小鉢5皿分以上）

<小鉢一皿分の目安>

※野菜料理は食塩が多くなりやすいため
味付けは薄味に、素材の味を楽しみましょう



冷やしトマト
カリウム150mg



ほうれん草のお浸し
カリウム360mg



具たくさん味噌汁
カリウム330mg



茹でブロッコリー
カリウム150mg



かぼちゃの煮物
カリウム370mg



旬の果物を！

果物

1日の目安量：200g
（大きい果物は1個、
みかんなど小さい果物は2個程度）

<100gの目安>



りんご半分
カリウム120mg



バナナ（1本）
カリウム360mg



みかん（1個）
カリウム150mg



キウイフルーツ
（1個）
カリウム300mg



カルシウムも
とれる！

牛乳・乳製品

1日の目安量：200g
（カルシウム約200mg分）

<カルシウム100mgの目安>



牛乳（100 ml）
カリウム150mg



ヨーグルト（100 g）
カリウム150mg



プロセスチーズ
（1かけ）
カリウム10mg



スライスチーズ
（1枚）
カリウム10mg

※チーズは食塩が多いため食べ過ぎには注意

電気化学センサに関する取り組み – スマホ連携

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

スマホアプリ（無料）



食事情報

尿ナトカリ比



電気化学センサに関する取り組み – ナトリウムセンサターゲット

さあ、NOBLEと実現しよう。

Together, we make good sense.

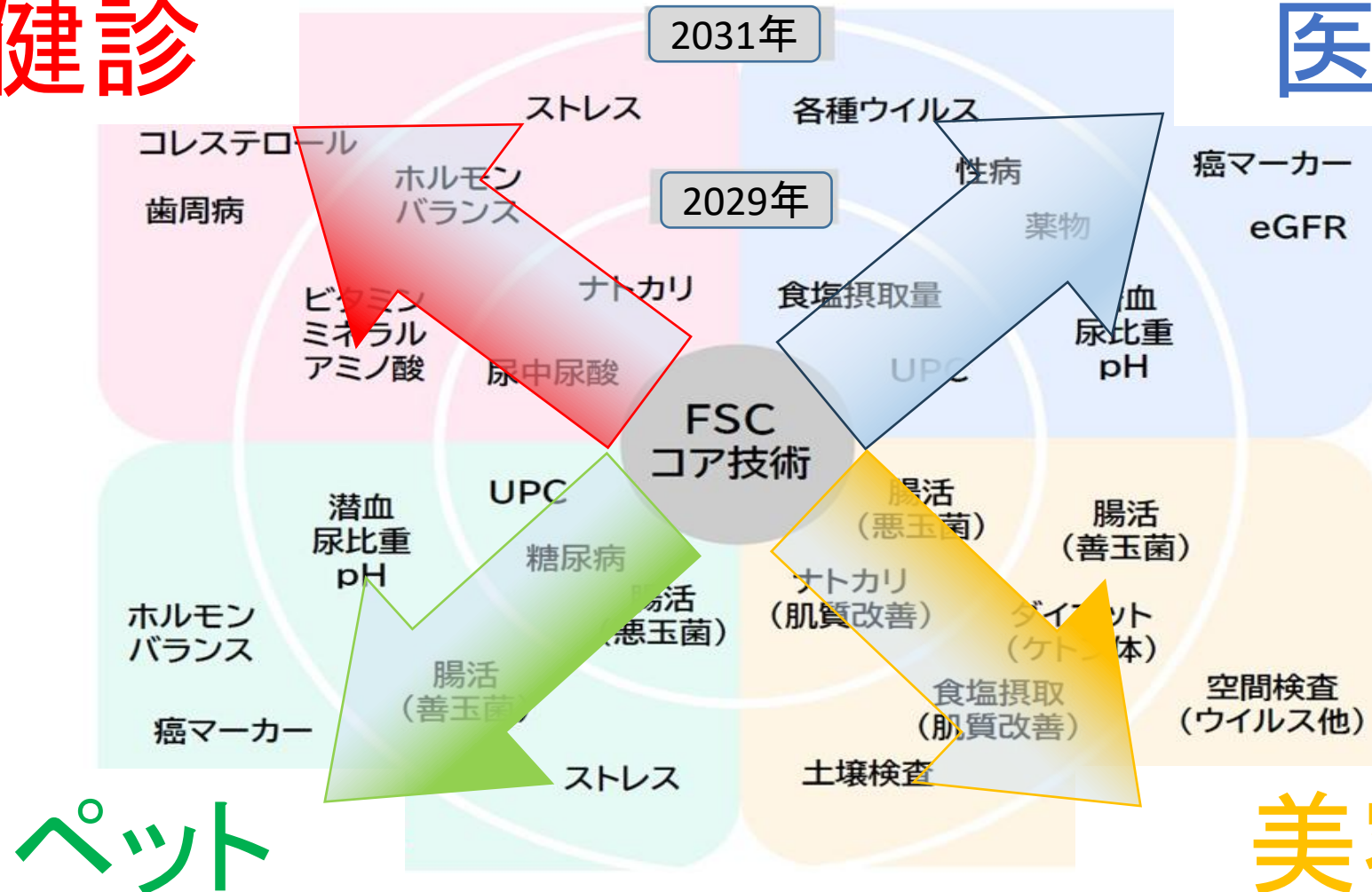
- 生活習慣病患者数データに基づき段階的絞り込みを行い、実現性の高い参入計画を策定



他分野に事業展開「ナトカリは入口」

健診

医療



INDEX – 目次

01. 帝国通信工業について

02. 当社の強み

03. 中期経営計画

04. 株主還元と主な経営指標の推移

05. 事業成長のための研究開発と投資

06. サステナビリティとIR

「気候変動への対応」を通じたカーボンニュートラルの実現

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

- 当社では「気候変動への対応」をサステナビリティ経営における重要課題の1つと位置付けている
- 「気候変動への対応」を通じてサプライチェーン全体での脱炭素化を推進するため、Scope1-3排出量について従来の取組みに加え、さらなる再生可能エネルギーの導入や設備投資を進め、GHG排出量削減策を強化していく

気候変動への対応

SBTI準拠の目標を設定し、認定取得しました

(CO₂排出量単位：tCO₂e)

Scope1-3削減目標		2024年度 (基準年度)	2030年度 (中計最終年度目標)
Scope1	燃料消費による直接排出	1,553	4,454 2024年度比 ▲55%以上
	電気使用による間接排出 (マーケット基準)	8,223	
Scope2	うち) 非化石価値によるCO ₂ 排出量相殺分	2,330	
	再生エネルギー電力導入比率 (%)	22%	100%
	参考) Scope2 (ロケーション基準)	10,132	
Scope3	Scope1・2以外での間接排出	514,926	386,194 2024年度比 ▲25%

カーボンニュートラルに向けた取組み

サステナビリティを体現する本社建替え
(2028年1月竣工予定)

ZEB Ready取得を
目指す



環境負荷を低減するモノづくり

電子回路基板に紙を使用できるかチャレンジ

環境に配慮
した素材/
工法への
取組み

1. 素材 「PETシート」(石油由来)ではなく「紙」(植物由来)
2. パターン スクリーン印刷で電極を形成⇒エッジング工法に比べて廃液が少なく、環境にやさしい
3. 実装 低温はんだを使用⇒融点が低いため耐熱性の低い部品の接合が可能。また、一般的なのはんだに比べてCO₂排出量が少ない(約3割削減)

折り紙に
展開



- ・ 紙上に電子回路を印刷してもパターンを維持できた
- ・ 紙上にLEDを実装できた
- ・ 折り曲げても断線しないことが確認できた

2050年度目標 カーボンニュートラルの実現

人的資本に対する当社の考え方

さあ、NOBLEと実現しよう。

Together, we make good sense.

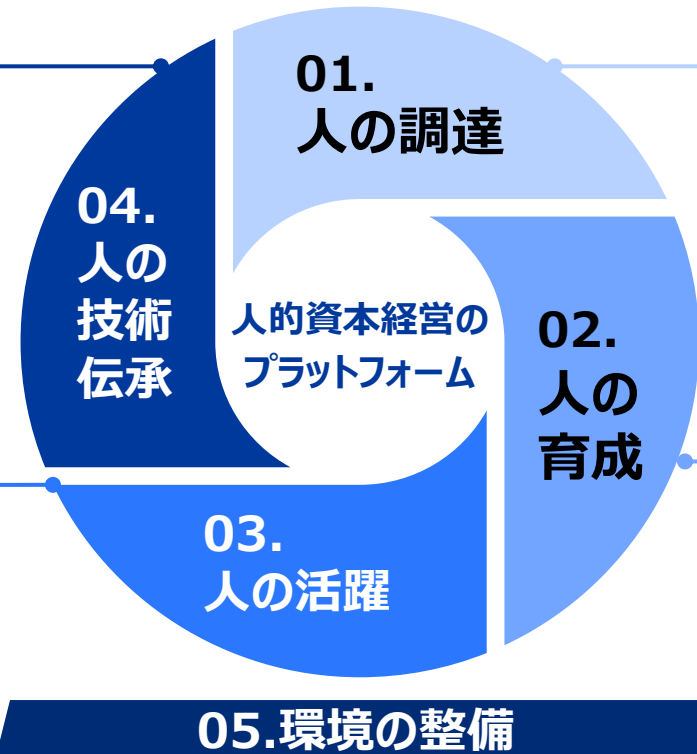
- 挑戦を後押しできる制度や環境を整え、社員一人ひとりが「Change」・「Challenge」・「Communicate」の「3C」に基づく意識改革を図りながら、成長に向けて挑戦できる人材を育成していく

コア技術を伝承し、競争力の源泉を維持する

- ・ 国内外の工場で同時に生産体制を組み、生産拠点間の連携強化やエレメント技術の深化と承継、BCP体制の構築を実現
- ・ 熟練技術者の調整技術や品質管理のノウハウを動画やAIでデータ化し、ナレッジを資産化
- ・ プロフェッショナル技術の伝承を推進する「NOBLE匠制度」の実施

個々の能力が解放され、成果に直結する

- ・ 適切な評価と報酬として、納得感のある評価や目標の落とし込みにより、成果達成時のインセンティブで応える
- ・ タレントマネジメントによる適材適所の配置
- ・ 会社の目標と個人の仕事繋がっている実感（意味実感）を持てるようにする



経営戦略に必要なスキルセットを揃える

- ・ 採用ブランディング、自社のパーパス（存在意義）を発信し、共感する人材を惹きつける
- ・ アルムナイ（退職者）採用・社員紹介制度などに加え、新卒および中途採用の強化

個人のキャリア自律と企業の成長を同期させる

- ・ NOBLE育成塾（次世代研修）を軸とした研修の高度化
- ・ AIなどを含む研修機会の提供を強化
- ・ 社内公募制度や副業解禁など、自らの意思でキャリアを切り開く機会を提供
- ・ 次世代リーダーの継続、海外研修も視野に入れた研修など、選抜式研修として戦略的に経験を積ませる

ウェルビーイングを重視した職場環境の整備

- ・ 個々のライフスタイルに合わせた柔軟な働き方の追求（在宅・時間休など）
- ・ 多様な人が活躍できる職場環境を整える
- ・ 多様な意見が歓迎され、失敗を恐れず挑戦できる風土の醸成

川崎フロンターレとのパートナーシップ契約締結

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

- J1リーグ（日本プロサッカーリーグ1部）の株式会社川崎フロンターレ(以下、川崎フロンターレ)と2026年4月1日よりオフィシャルパートナー契約を締結いたしました。
- 私たち帝国通信工業は、将来チームを担うアカデミーに所属する選手たちの育成に携わることで、スポーツの魅力や、創業の地であり現在も本社所在地である川崎市の活性化にも貢献していきたいと考えております。川崎フロンターレが今後ますます発展していけるようにクラブ、サポーター、スポンサーの皆様と"共に"歩んで参ります。

パートナーシップの概要

サポート対象：川崎フロンターレU-18（アカデミー）

主な内容：食事サポート / ユニフォーム(左袖)ロゴ掲出

契約期間：2026年4月1日～2028年1月31日



PARTNETSHIP CONCEPT



FOOTBALL TOGETHER

すべての人と共に歩む私たちの信念

©KAWASAKI FRONTALE



さあ、NOBLEと実現しよう。

Together, we make good sense.

NOBLE
帝国通信工業株式会社

本パートナーシップにより目指す姿

01 地域社会貢献 (ESG推進)

創業の地・川崎の若きアスリート育成を支援し、持続可能な地域社会の発展に貢献。

02 ブランド価値・認知度・採用強化

ロゴ露出によりブランド価値と認知度を高め、優秀な人材の採用力を強化。

03 インナーブランディング

未来へ挑戦する選手を全社で後押しし、社員のエンゲージメントと一体感を醸成。

2027年国際園芸博覧会 (GREEN×EXPO 2027) への貢献

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

● 「幸せを創る明日の風景」の共創と地域への貢献活動

2027年3月に横浜で開催される「GREEN×EXPO 2027」の開催を応援し、寄附を決定いたしました。
本博覧会は、テーマ「幸せを創る明日の風景」の下、自然との調和を図り、持続可能な社会の実現を目指す世界的なイベントであり、当社のサステナビリティビジョンと深く共鳴するものです。

🌐 ブランド価値の向上と認知度拡大

来場者数1,000万人超
見込み

世界規模の博覧会における寄附者として、サステナビリティ先進企業としてのブランド認知を国内外で確立します。(企業名公表による効果)

🌱 ビジョンへの共鳴と社会課題への貢献

EXPOの掲げる「自然との共生」や「持続可能な未来」の実現に向けた取り組みに賛同し、寄附金を通じてその実現に貢献します。

🌳 未来の風景を支える地域貢献

当社は神奈川県川崎市・長野県の
グリーンボンドにも出資しています。

川崎市に本社を置く当社は、地域への感謝を忘れず、未来の神奈川の創造に貢献していきます。



GREEN×EXPO 2027を 応援しています

©Expo 2027

IR これまでの施策

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

● 英文開示への対応をはじめとしたIR活動の継続的強化を実施

✓ 下表に記載事項は、実施済み、継続予定

IR活動内容	頻度	対応時期	実施／予定
中期経営計画開示	5ヵ年計画	2026年5月12日開示	実施・継続
中期経営計画英文開示	5ヵ年計画	2026年6月5日開示	実施・継続
決算説明資料開示	毎四半期	2021年3月期末決算より実施	実施・継続
決算説明資料英文開示	毎四半期	2021年3月期末決算より実施	実施・継続
新聞・業界紙・IR専門誌等への 広告掲載など	適時	JR品川駅・新横浜駅にサインボードとして広告を掲示 日経新聞、電波新聞等にインタビュー記事掲載 週刊エコノミスト26年4月7日号、日経ヴェリタス25年8月6日号 ダイヤモンドZai 2026年11月号掲載	実施・継続
各種展示会出展など	随時	Medtec Japan、Well-being Technology、ハノイ部品調達 展示商談会、取引先様出展ブースでの協創展示等 国内外の 展示会に出展	実施・継続
アナリスト向け決算説明会開催	毎半期	毎年、6月・12月頃	実施・継続
アナリスト向けIRミーティング	随時		実施・継続
個人投資家向けIR戦略	随時	個人投資家向け説明会22年より実施（26年9月本日開催） 野村IR会員向け「トップの素顔」「IRレポート」掲示	実施・継続
新スローガン作成	随時	創業80周年に向けて企業スローガンを策定	実施・継続
資本提携等発表	随時	2021年に（株）S'UIMINと資本提携	実施・継続
成長戦略開示	－	中期経営計画の進捗と今後の取組に関するお知らせ	2025年5月
機関投資家向けSR面談	適時	2026年1月に実施	実施・継続
80周年誌刊行	－	ダイヤモンド・ビジネス企画社より発刊	2025年1月
統合報告書開示	年次	2025年11月28日に統合報告書をHPにて開示	2025年11月



ダイヤモンド
Zai 2026年
11月号にて
掲載
（本日発売）



当社80周年誌
ダイヤモンド社より
絶賛発売中

今年も統合報告書を開示予定
IR活動は継続的に強化

IR 品川駅・新横浜駅での駅看板広告のご紹介

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

JR品川駅中央改札内 & JR東海道新幹線新横浜駅ホームにて掲出中

ご利用の際はぜひご覧ください

当社の認知度向上および事業理解の促進に向け、主要ターミナル駅である「品川駅」および「新横浜駅」に企業広告を掲出しております。
ビジネスやご旅行などで駅にお立ち寄りの際は、ぜひ構内看板にご注目ください。

JR品川駅

中央改札口内

広告コンセプト：「定刻通勤」をひそかに支える

日常生活や住宅設備に使われる当社の電子部品が、毎朝の快適なスタートを下支えしているメッセージを伝えています。

JR新横浜駅

新幹線ホーム柱

広告コンセプト：小さくても一等輝く製品づくり

車載・音響・民生機器など社会を支える当社の電子部品を「一等星」に見立てて表現しています。



JR品川駅 サインボード広告 中央改札口内（2025年～リニューアル掲出）

実は! の実話

皆さんの「定刻通勤」を「帝国通信」が、ひそかに支えています。

「おはよう」から「行ってきます」を、電子部品でスムーズに快適に!

センサー 可変抵抗器 固定抵抗器 スイッチ

睡眠状態を可視化する脳波電極など医療分野にも注力しています

デザイン原本

Together, we make good sense. ① 帝国通信工業株式会社



JR新横浜駅 ホーム柱看板広告 東海道新幹線ホーム（「一等星」シリーズ）



【車載関連】

安全な走りのための一等星。



【音響関連】

音楽を奏でるための一等星。



【民生・カメラ】

世界を収めるための一等星。



帝国通信工業株式会社ホームページ



「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ」など、
その他情報は弊社ホームページをご覧ください

Together, we make good sense.



本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた当社グループの現在の前提及び見解に基づくものであり、将来の業績の保証を意味するものではありません。

また当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

お問合せ先： 帝国通信工業株式会社
経理室 財務IR課
TEL： 044-422-3831
E-Mail： ir-info@ho.noble-j.co.jp
URL： <https://www.noble-j.co.jp/>

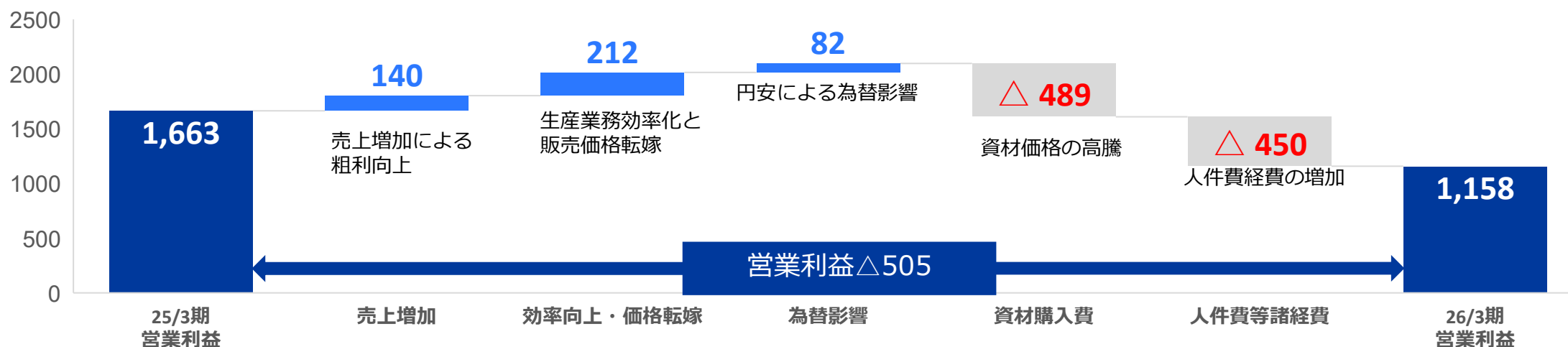
Appendix:26/3期の利益増減要因分析（前年同期比較）

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

(百万円)	25/3期			26/3期			前年同期比		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	7,968	8,822	16,790	8,494	8,762	17,256	526	△60	466
営業利益	876	787	1,663	656	502	1,158	△220	△285	△505
営業外損益	23	441	464	92	433	526	69	△8	62
(うち為替差益)	(△145)	(271)	(126)	(△78)	(338)	(260)	66	67	134
経常利益	899	1,228	2,127	749	935	1,684	△150	△293	△442
親会社株主に帰属する当期純利益	699	1,310	2,009	446	827	1,273	△253	△483	△736

単位：百万円

連結営業利益増減要因（通期前年比較）



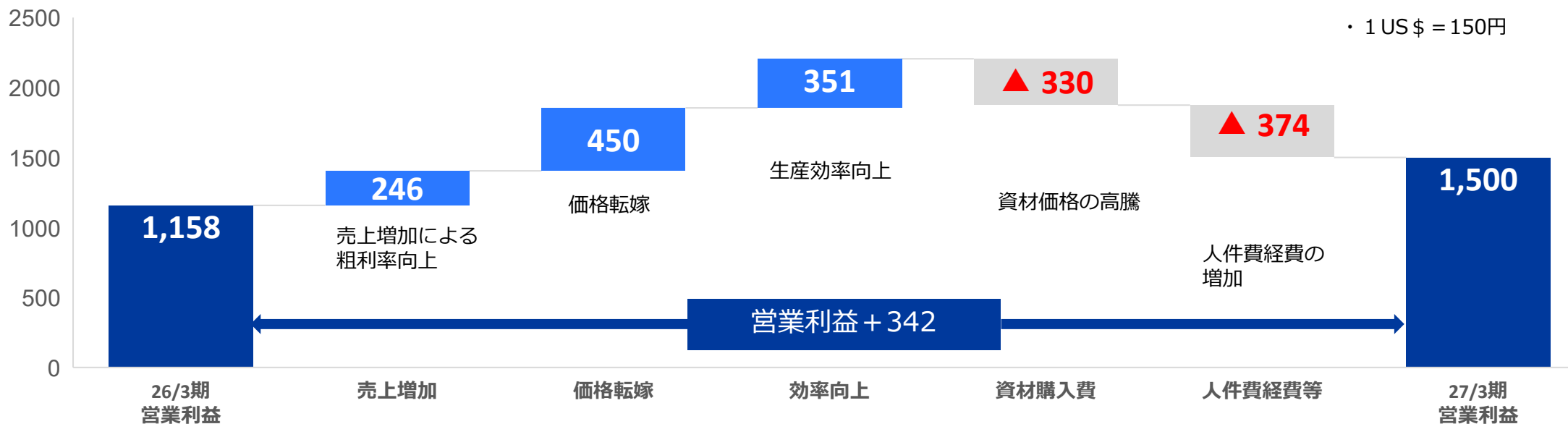
Appendix:27/3期の利益増減要因予想（通期前年比較）

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

(百万円)	2026年3月期		2027年3月期		前年比	
売上高	17,256	対売上高比	18,000	対売上高比	744	104.3%
営業利益	1,158	6.7%	1,500	8.3%	342	129.5%
営業外損益	526	3.0%	100	0.6%	△426	19.0%
(うち為替差益)	(260)	1.5%	-	-	-	-
経常利益	1,684	9.8%	1,600	8.9%	△84	95.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,273	7.4%	1,400	7.8%	127	109.9%

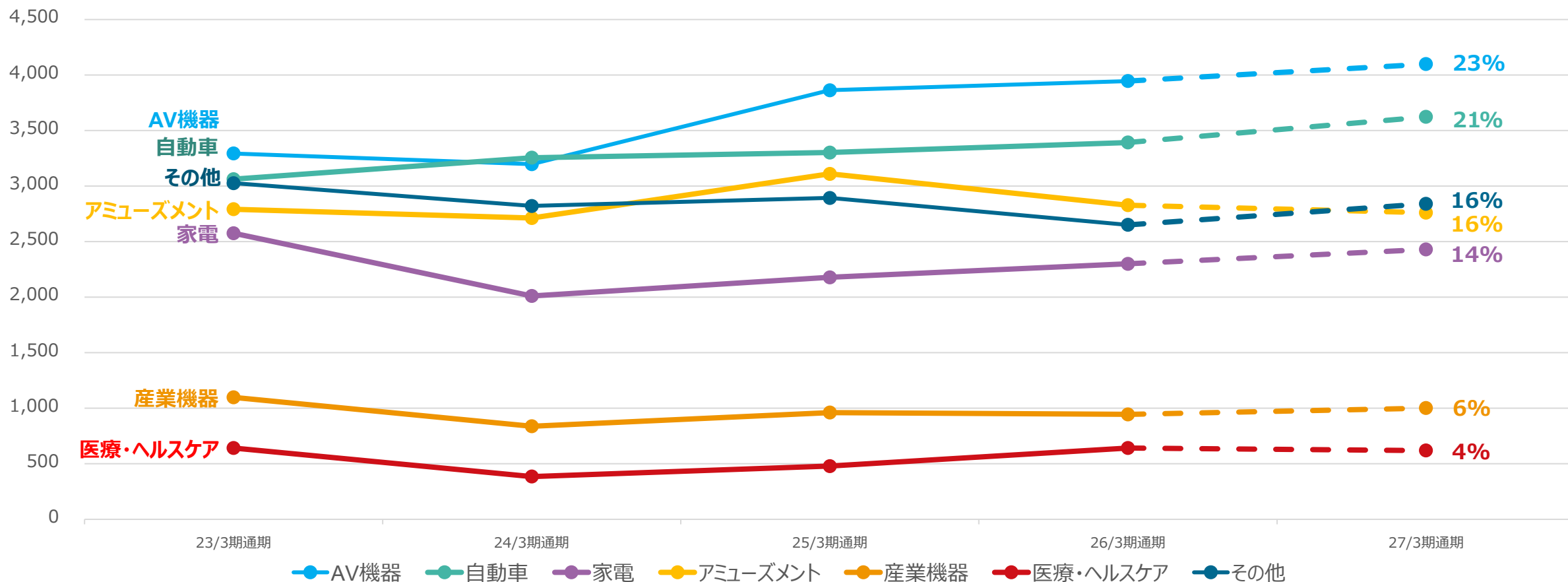
連結営業利益増減要因（通期前年比較）

単位：百万円



Appendix:市場別売上高推移_電子部品セグメント

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.

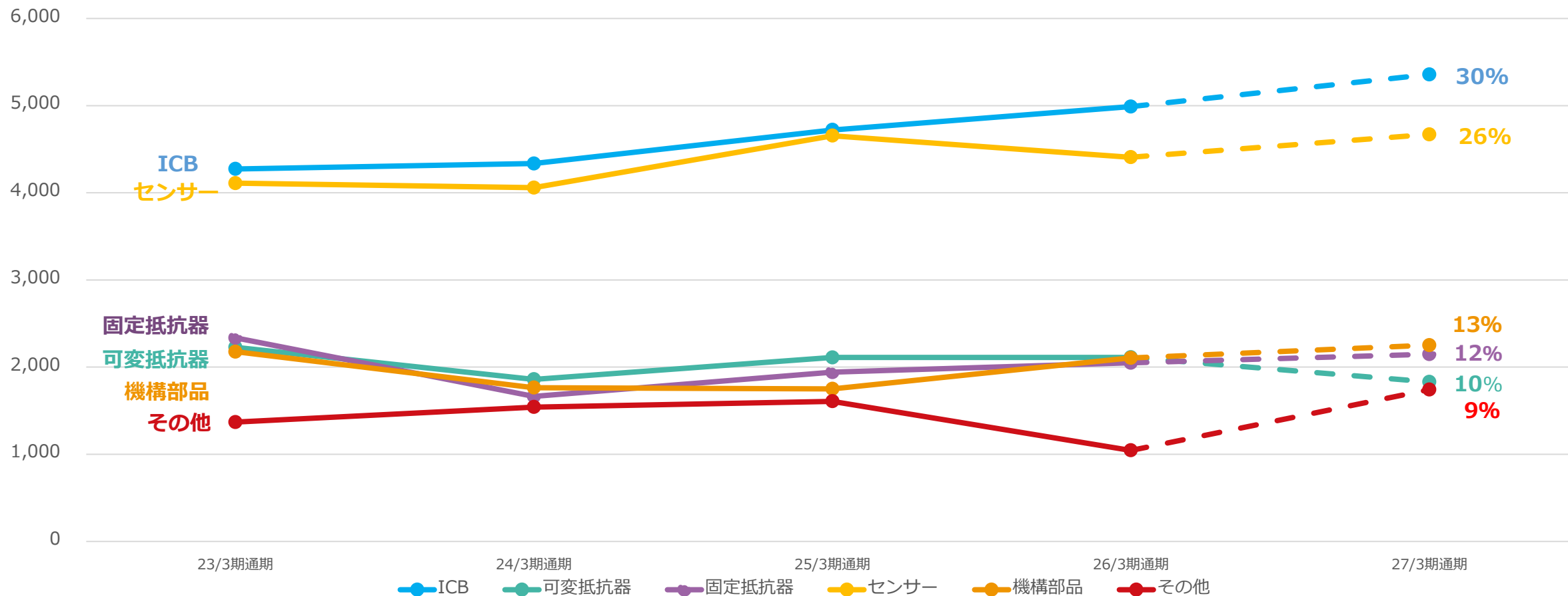


- AV機器：カメラ市場向けが回復継続
- 自動車：採用機種も増え増加継続
- アミューズメント：市場影響等で微減

26/3期		27/3期予想
39.5億円	⇒	41.0億円
33.9億円	⇒	36.2億円
28.3億円	⇒	27.6億円

Appendix:製品別売上高推移

さあ、NOBLEと実現しよう。
Together, we make good sense.



- ICB : カメラ向けをはじめ売上は増加傾向継続
- センサー : 一時的な落ち込みはあったが堅調
- 機構部品 : 機械装置関係の市場と連動し回復基調

26/3期	⇒	27/3期予想
49.9億円	⇒	53.6億円
44.1億円	⇒	46.7億円
21.0億円	⇒	22.5億円

用語	内容
F P C	フレキシブルプリント配線板（Flexible Printed Circuit）。薄くて曲げられる配線基板で電子機器内部の配線に使用
インサート成型	金属端子やナットなどの部品を金型にセットし、その周囲を樹脂で射出成形して一体化する方法
T A M	理論上の最大市場（Total Addressable Market）
S A M	自社がアプローチ可能な市場（Serviceable Available Market）
S O M	現実的に獲得できる市場（Serviceable Obtainable Market）
B C P	災害等が起きても事業を止めにくくする計画（Business Continuity Plan）
スクリーン印刷	メッシュ状の版の穴からインキを押し出して模様や機能膜を形成する印刷方法
SBTi	企業の温室効果ガス削減目標がパリ協定と整合した科学的根拠に基づく水準かどうかを検証・認定する国際イニシアチブ（Science Based Targets initiative）
エッチング工法	プリント基板などの金属膜を薬液で選択的に溶かし、微細な配線パターンを形成する湿式化学加工プロセス
タレントマネジメント	従業員が持つ能力やスキル等の人材情報を経営資源として認識し、組織における採用や配置、育成に活用することで、従業員および組織の生産性最大化を図る人材マネジメント手法
ウェルビーイング	well（よい） + being（状態）からなる言葉。「心身だけでなく社会的な面も含め満たされた状態」とされる
インナーブランディング	企業理念・ビジョン・価値観を社員と共有し、共感や愛着を育てる活動